

Trinzic X6 エンタープライズ向け DNS、DHCP IPAM (DDI) アプライアンス

企業を最適化する

ハイブリッド技術によりネットワーク変革を推進しています。どこからでもクラウドアプリケーションに直接アクセスできるようになり、エンタープライズクラウドはこれまで以上に急速に拡大しています。仮想化機能を備えたポリシー駆動のソフトウェア・デファインドネットワークにより、リモートオフィスとユーザーがネットワークエッジを利用できるようになります。BYOD、モビリティ、IoT技術が急速に広がり、ネットワークの拡張性とセキュリティがますます大きな課題になっています。

Trinzic X6の物理アプライアンスとソフトウェアアプライアンスは、決して止まることのない世界のために作られています。Infobloxは、オンプレミス、プライベート/ハイブリッド、パブリック/マルチクラウドネットワークの可視化、セキュリティ、分析、管理に必要なすべての機能を備えたプラットフォームを提供します。InfobloxのTrinzic X6アプライアンスにより改善できること:

パフォーマンス

Trinzic X6は、以前のモデルよりも優れたDNSとDHCPパフォーマンスを提供します。

機能性

Trinzic X6は、クラウドプラットフォームAPIの自動化、DNSファイアウォール、DNSトラフィックコントロールのグローバルサーバー負荷分散など、これまで個別に販売されていたライセンスを統合します。Trinzic X6は、投資を無駄にすることがないように、X5またはX6ソフトウェアのサブスクリプションに対応しています。すべてのTrinzic X6アプライアンスは複数の電源で使用できます。

簡素化

Trinzic X6は、物理アプライアンスとソフトウェアアプライアンスのプラットフォームを少数のモデルに簡素化し、同じ基盤プラットフォームを利用してグリッド化されたDNS/DHCP、ネットワーク検出、またはレポートサービスを提供します。

Trinzic X6は、信頼性が高く、セキュリティの強化された、管理が容易なInfobloxアプライアンスの最新世代です。より高い可用性(HA)、自動化、分散された環境を実現し、コアとなる付加価値のあるネットワークサービス、セキュリティ、クラウドソリューションを強化するように最適化されています。Trinzic X6は、変化するビジネス要件に対応し、新たに出現しているハイブリッドおよびマルチクラウド技術を最大限に活用するための速度、容量、拡張性を備えています。安全性の高いTrinzic X6アプライアンスは、データセンター、クラウド、リモートサイト、ネットワークの隅々まで最適化された最新モデルでの優れたパフォーマンスと機能性により、可視性、自動化、制御を向上させます。

TRINZIC X6アプライアンスとX5アプライアンスの比較

Trinzic X6アプライアンスプラットフォームはNIOS 9以降で動作し、以前のTrinzic X5に比べてネットワークパフォーマンス、機能性、簡素化の点で優れています。

専用アプライアンス

ソフトウェアアプライアンス

- ソフトウェアアプライアンスは、主要なハイブリッドおよびマルチクラウドプラットフォームでサポートされています。
- サーバーや物理アプライアンスの数を減らすことで電力を節約。
- ハードウェア、電力、冷却、不動産コストを節約して所有コスト(TCO)を削減。
- 標準的な仮想化手法を使用しての簡単な導入。

物理アプライアンス

リモート管理

- Lights Out Management、IPMI 2.0
- ユニット識別ボタン/LED
- リアルタイムでシステム環境と障害をモニタリング
- Infoblox MIBSによるSNMPモニタリング

高可用性

- 冗長電源
- 冗長ディスク
- 冗長冷却ファン
- フィールド交換可能な電源装置
- フィールド交換可能なディスク
- フィールド交換可能なファン
- ECC RAM

パフォーマンス

- 以前のモデルと比較してDNS QPSとDHCP LPSのパフォーマンスが最大50%改善
- TE-2kとTE-4kアプライアンス用のオブジェクト数が増加
- Network Insight、Report and Analytics のパフォーマンスが向上

機能性

- コスト削減に貢献するInfobloxライセンスが含まれています。
 - » クラウドプラットフォーム (CP) 自動化のためのAPI
 - » DNSファイアウォール (DFW) レスポンスポリシーゾーン (RPZ) に対応
 - » DNSトラフィックコントロール (DTC) 統合グローバルサーバー負荷分散
- NIOS 9以降が動作し、最適なパフォーマンスと機能を発揮して簡素化を実現
- Trinzic X5またはX6ソフトウェアサブスクリプションを活用して投資を保護
- すべてのアプライアンスに複数の電源オプションを提供

簡素化

- 8機種のTrinzic X5を5機種のTrinzic X6に統合
- DNS/DHCP Grid、Network InsightやReporting and Analyticsを単一のTrinzic X6モデルで実行可能
- すべてのTrinzic X6 SKUが物理、プライベート、パブリッククラウド環境に対応

柔軟な導入

スケーラビリティ

Trinzic X6の物理アプライアンスとソフトウェアアプライアンスは、超大手企業やサービスプロバイダでの運用、大企業、中堅企業、中小企業、商用データセンター、あるいは支店や遠隔地に至るまで、今日のビジネスニーズを満たし、将来に向けて拡張できる各種サイズを取り揃えています。

クラウド

現在クラウドワークロードを実行している場合、またはクラウド移行を計画している場合、Trinzic X6はプライベート/ハイブリッドクラウドやパブリック/マルチクラウドの展開を最適化するアプライアンスとソフトウェアを提供します。Trinzic X6では、IPAMに対して単一のコントロールプレーンで可視性と管理を行えます。Ansible、Calm、Docker、Kubernetes、OpenStack、Terraform、VMwareなどのオーケストレーションと自動化ツールとの統合により、俊敏性と価値実現までの時間が促進されます。Trinzic X6アプライアンスは、AWS、Azure、Google Cloud Platform (GCP)、Oracle Cloud Infrastructure (OCI)、Nutanix、OpenShift OpenStack、VMwareなどのマルチクラウドプラットフォームでの展開も強化します。

可用性

Trinzic X6アプライアンスは、個別に、またはより高い可用性 (HA) ペアで導入でき、InfobloxのGrid™技術を活用して最適なサービス回復力を実現できます。Trinzic X6アプライアンスは、リモートサイトの通信と管理のためのLights Out Management (LOM) をサポートしています。また、ユニット識別ボタン/LEDも備えており、高いエネルギー効率を達成するために最新の技術が利用されています。

- 電力効率
- 低消費電力
- 環境に配慮した取り組みへの支援

高度な要件

- 最高品質のエンタープライズグレードでエネルギー効率の高いコンポーネント
- 米国政府のセキュリティ要件を満たすカスタム設計シャーシ
- 高性能DNSキャッシュとDC電源を備えたサービスプロバイダーオプション
- 光および銅線SFPのインターフェース
- 拡張スロット

TRINZIC X6ソフトウェアライセンス

NIOS DNS、DHCP、IPAM (DDI)

Trinzic X6の物理アプライアンスとソフトウェアアプライアンスは、業界をリードするInfobloxのエンタープライズ/商用/サービスプロバイダグレードのDDIソフトウェアである、NIOS 9.xの動作に最適な設計がされています。NIOS DDIは稼働時間、信頼性、セキュリティ、ビジネスパフォーマンスを考慮して統合・強化して、設計されています。ドメインネームシステム (DNS) は、すべてのネットワークについて検討する出発点になります。一般的な覚えやすいドメイン名を数値のインターネットプロトコル (IP) アドレスに変換し、アプリケーションが固有のデバイスを見つけたり、リソースとやり取りしたり、リソースを交換したりするために使用します。DHCPは、ネットワークIDとアクセスの基盤であり、デバイスをネットワークに接続するためのIPアドレスを迅速かつ自動的に集中管理し、配布します。IPアドレス管理 (IPAM) とは、ネットワーク上のマシンのIPアドレスの計画、追跡、管理を指します。

Trinzic X6プラットフォームは、DNS、DHCP、IPAM、Grid、API、プライベートクラウド、パブリッククラウド、vNIOSハイパーバイザー、vNIOS統合オーケストレーション、ロギングなどInfobloxのDDI GDライセンス向けに最適化されています。

DDI GDライセンス	機能
DNS	権威DNS、リカーシブDNSとセカンダリ権威サービス、ネームサーバーグループ、DDNS更新、DNSレコードのエージングとスカベンジング、DNSSEC署名と検証、DNSエニーキャスト、DNSブロックリストとブラックホール、DNS転送プロキシ (DFP)、DNSスーパーホストサポート、DNSビュー、DNSゾーンデータのインポート、エクスポート、転送、およびIPv4とIPv6に対応
DHCP	DHCPフェイルオーバー、DHCPフィルタリング、DHCPフィンガープリンティング、DHCP固定アドレス、DHCP通知とアラート、DHCPオプション、オプションスペースとオプション範囲、DHCP使用率のしきい値、IPv4とIPv6のサポート、ネットワークテンプレート (固定アドレスと範囲)
IPAM	CSVのインポートとエクスポート、拡張可能な属性とスマートフォルダ、vDiscovery、基本的なIPAM検出、重複するアドレススペース管理のネットワークビュー、IPAM使用率のしきい値、IPAMの可視化と予約、VLAN管理
Grid	承認ワークフロー、認証: ローカルDB、LDAP、RADIUS、Active Directory、SAMLとSSO、自動プロビジョニング、自動ソフトウェアアップデート: 一元化、グループとスケジューリング、集中型ライセンスリポジトリ、カスタマイズダッシュボード、メンバー間の通信の暗号化、DRと冗長性のGrid Manager Candidates (GMC)、Virtual Router Redundancy Protocol (VRRP) を使用したHA、手動/予約によるバックアップと復元、NTPサーバとNTPクライアント、アウトオブバンド管理、ごみ箱、ロールベースのアクセス制御 (RBAC) 保護、ハードニングされたハードウェアアプライアンスとソフトウェアアプライアンス
API	RESTベースのWeb API (WAPI)、アウトバウンドAPI (エコシステムライセンス)
パブリッククラウド	AWS、AzureとAzure Stack、Google Cloud Platform (GCP)、Oracle Cloud Infrastructure (OCI) に対応
プライベートクラウド	VMware、Nutanix、Red Hat OpenShift、OpenStackに対応
vNIOSハイパーバイザー	VMware ESXi、KVM、Microsoft Hyper-V、Nutanix Acropolis Hypervisor (AHV) に対応
IPAMの統合とオーケストレーション	Ansible Collection、Calm (サードパーティ)、Docker、Kubernetes (API)、OpenStack、Terraform、VMware、NIOS Grid Connector (クラウド内のDDIデータの表示)、クラウドプラットフォーム (CP) Infobloxアプライアンス
ロギング	ログ閲覧 (ダウンロードと表示)、オンプレミスへのログ転送 (CDC経由)、Microsoft DNS/DHCPログキャプチャ、内部Syslogの表示とリモートSyslogへの転送

クラウドプラットフォーム (CP) 自動化のためのAPI

CP APIライセンスは、自社やデータセンターまたはクラウド環境に分散したDNS/DHCPサービスを、IPアドレスとDNSレコード管理を自動化することで、データセンターのスケラビリティと回復力を向上させます。CPは、Infoblox Gridに直接統合された単一の仮想プラットフォームで、APIを使用してDNS/DHCPプロトコルを提供することにより、各VMのプロビジョニングの問題を解決します。VMがプロビジョニングされると、CPに対してAPI呼び出しを行ってIPアドレスを割り当て、各VMにDNSレコードを作成できるため、IPアドレスのブロックと個々のDNSレコードを手動でプロビジョニングすることによって生じる障害が解消されます。CPは、APIの自動化がローカルレベルで行われ、Grid Managerへの接続が中断された場合でもクラウドと仮想化のプロビジョニングを継続できるようにすることでサービス停止のリスクを最小限に抑えるため、生存性を向上させます。Infobloxには、迅速な導入のために最適化されたVMware vRA、AWS EC2、Azure、GCP、OpenStackなどの統合が事前に構築されているため、これらや他のクラウド管理プラットフォームとのテンプレート化されたインテグレーションが提供されます。

DNSファイアウォール (DFW)

DFWライセンスは、オプションのBloXOne Threat Defenseと統合して、マルウェアとCommand and Control (C&Cs) サーバーやボットネットとの通信を検出・妨害し、マルウェアを封じ込め制御するために使用できるResponse Policy Zone (RPZ) 機能を有効にします。DFWをGrid内のIPAMデータと組み合わせると、DHCPフィンガープリンティングを活用して修復することで感染したデバイスを検出し、サイバーキルチェーンの早期の段階で脅威の影響を軽減できます。DFWはDNSのリダイレクトも有効にし、管理者が企業が所有していないドメインをリダイレクトできるようにします。さらに、そのライセンスを持っている場合、DFWをセキュリティエコシステム統合のトリガーとして使用できます。また、Infoblox Reporting and Analyticsと統合して、概要レポートと、上位のRPZ (Response Policy Zones) ヒット、上位の悪意のあるホスト名、上位の悪意のあるユーザーなどを含む豊富なコンテキストデータを提供します。

DNSトラフィックコントロール (DTC)

DTCライセンスは、統合されたグローバルサーバー負荷分散 (GSLB) ソリューションであり、地理的に多様なオンプレミス、プライベート/ハイブリッド、パブリック/マルチクラウドの各環境全体にネットワークのトラフィックを分散させることで、事業の継続性、信頼性の高いアプリケーション稼働時間、サービス回復力、ディザスタリカバリ (DR) を実現します。DTCは、権威あるIPAMデータをDNSとGSLBに統合し、ユーザートラフィックを最適なサーバーにインテリジェントに転送します。複数の負荷分散アルゴリズムと柔軟で自動化されたヘルスチェックを実行し、サーバーの可用性を確保します。変化するデータ量やビジネスニーズに対応する拡張性を備えています。最適な可視性を実現するために、DTCは、負荷分散ドメイン名 (LBDN)、プールとサーバーの関係および属性を表示するシンプルなユーザーインターフェースとビジュアライザーを使用します。他のアプリケーションデリバリーコントローラー (ADC) とは異なり、LBDN、プール、サーバーの運用前テストをリアルタイムで実行して、本番運用開始前の準備が整っているかどうかを確認できます。DTCは、GeoIPと拡張属性データ (ユーザー定義のメタタグ) を使用して、アプリケーションの最適化とともに規制とプライバシーの遵守のために地域固有のゾーンへのトラフィックを制御できます。統合されたSplunkベースのレポートと分析ツールは、事前構築済みでカスタマイズ可能なDTCダッシュボード、レポート、検索、アラート、自動レポート配布を提供し、このツールは別途利用可能です。最後に、DTCはInfoblox検出ソースと統合し、IPサブネット、GeoIP、拡張属性データに基づいてトポロジを自動的に更新します。APIを使用すると、新しいサーバーインスタンスを迅速に追加し、新しいアプリのプロビジョニングや他のシステムとの統合、そして日常的なタスクの自動化を行うことができます。DTCはGridに直接統合されているため、別のプラットフォームのソフトウェアを展開・構成して、更新管理を行う必要はありません。

ソフトウェアアプライアンスの仕様¹

TE-906、1506、1606、2306、4106 ソフトウェアアプライアンス	
ハイパーバイザー (プライベートクラウド) 対応	VMWare ESXi、MS Hyper-V、Nutanix AHV、OpenStack、KVM
パブリッククラウドプラットフォーム対応	AWS、GCP、MS Azure

TR-5005 ソフトウェアアプライアンス	
インデックス容量	500MB、1GB、2GB、5GB、10GB、20GB、50GB、100GB、200GB、500GB
ハイパーバイザー (プライベートクラウド) 対応	VMWare ESXi、MS Hyper-V、Nutanix AHV、OpenStack KVM
パブリッククラウドプラットフォーム対応	AWS、MS Azure

¹ ハードウェアとソフトウェアの互換性: 一部のモデルはSFP (Small Form-Factor Pluggable) インターフェースをサポートしておらず、プラットフォームによってはアプライアンスのサブセットをサポートしている場合があるため、担当者またはInfobloxサポートに互換性について確認してください。

TRINZIC X6ソフトウェアとパフォーマンス

Infoblox Trinzic X6アプライアンス					
アプライアンス	TE-906	TE-1506	TE-1606	TE-2306	TE-4106
サポートされているソフトウェア ²	TE-926/825/815 ND-906/805	TE-1516/1415	TE-1526/1425 ND-1606/1405 TR-5005/1405	TE-2326/2225/2215, ND-2306/2205 TR-5005/2205	TE-4126/4025/4015 ND-4106/4005 TR-5005/4005
ハードウェアの冗長性	TE-906: AC PSU x1 TE-906-2AC: AC PSU x2	ホットスワップ対応冗長電源 x1 (オプション) フィールド交換可能なハードディスク	ホットスワップ可能な冗長電源 x2 Redundant Array of Independent Disks (RAID) のフィールド交換可能なハードディスク	ホットスワップ可能な冗長電源 x2 Redundant Array of Independent Disks (RAID) のフィールド交換可能なハードディスクとファン	
SFP/SFP+に対応した4ポート10GE NICカードをオプションで利用可能	なし	はい	はい	はい	
レポートと分析の1日あたりのインデックス作成容量	なし	なし	500MB~10GB	500MB~20GB	500MB~50GB

² ハードウェア/ソフトウェアの互換性と機能性: Trinzic X6アプライアンスはTrinzic X6またはX5サブスクリプションに対応できます。Infoblox製品は暗号化技術に対応しています。

Infoblox Trinzic X6ソフトウェアのパフォーマンス					
アプライアンス	TE-926	TE-1516	TE-1526	TE-2326	TE-4126
1秒あたりのDNSクエリ数 ³	33.75K	67.5K	112.5K	250K	450K
1秒あたりのDHCPリース数 ³	225	400	675	1,200	1,500
CPU ⁴	4コア	6コア	6コア	10コア	16コア
RAM ⁴	32 GB	64 GB	64 GB	192 GB	384 GB
ストレージ ⁴	1 TB	1 TB	1 TB	8 TB	16 TB
ハイパーバイザー (プライベートクラウド) 対応	VMWare ESXi, MS Hyper-V, Nutanix AHV, OpenStack, KVM				
パブリック/マルチクラウドプラットフォーム対応	AWS, GCP, MS Azure				

³ 記載されているパフォーマンスの数値は参考値です。これらの数値は、個々のプロトコルサービスに限定して、制御された環境でのラボテストの結果を表しています。追加のプロトコル、サービス、再帰DNSのキャッシュヒット率、環境変数を有効にすると、パフォーマンスに影響します。本番環境向けのソリューションの設計とサイズについては、担当のInfobloxソリューションアーキテクトにお問い合わせください。

⁴ CPU、RAM、ストレージの要件は、パブリッククラウドプラットフォーム、ハイパーバイザー、イメージタイプによって異なります。本番環境でのパフォーマンス要件を特定するには仕様に関連するインストールガイドを参照するか、担当のInfobloxソリューションアーキテクトにお問い合わせください。

物理アプライアンスの仕様



TE-906 ⁵			
CPU	<ul style="list-style-type: none"> Intel Xeon x1 	ディスクとファン	<ul style="list-style-type: none"> 固定ファン x3 固定ディスクドライブ x1 フラッシュ上に保存されたシステム
RAIDカード	<ul style="list-style-type: none"> なし 	動作温度	<ul style="list-style-type: none"> 5°C~35°C (41°F~95°F) 相対湿度5%~95%、結露なし
ストレージ	<ul style="list-style-type: none"> 1TB SSD x1 	ストレージ温度	<ul style="list-style-type: none"> -40°C~50°C (-40°F~122°F) 相対湿度5%~95%、結露なし
Trusted Platform Module (TPM)	<ul style="list-style-type: none"> ソケットモジュール 	寸法と重量	<ul style="list-style-type: none"> 筐体: 1U、19インチ、ラックマウント可 高さ: 44 mm (1.73インチ)、1ラックユニット 幅: 441 mm (17.36インチ) 奥行: 522 mm (20.55インチ) 重量: 7.71 kg (約17ポンド)
BIOS	<ul style="list-style-type: none"> Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) 	レールキット	<ul style="list-style-type: none"> ポスト 2本、最大600 mmのポスト 4本、または 600~900 mmのポスト 4本から選択
ネットワークインターフェースオプション	<ul style="list-style-type: none"> 10/100/1000 Base-T イーサネット x2 (LANポート) 10/100/1000 Base-T イーサネット x1 (HAポート) 10/100/1000 Base-T イーサネット x1 (管理ポート) NICカード: 4ポート 1GE NIC 	認証	<ul style="list-style-type: none"> 安全性: FCC、CE、TUV、CB、VCCI、C-Tick、KCC、CCC、NOM、BIS、GOST 環境: WEEE、RoHS
Lights Out Management (LOM)	<ul style="list-style-type: none"> 10/100/1000 Base-T イーサネット LOM ポート x1、IPMI 2.0 準拠 IPv4 に対応 	輸出入コード	アプライアンス: <ul style="list-style-type: none"> US HTS: 8471.50.01.50 US ECCN: 5A002 US CCAT: G169866 PSU: ECCN: EAR99、HTS: 8504.40.60.18 レールキット: ECCN: EAR99、HTS: 8473.30.51.00 トランシーバー: ECCN: EAR99、HTS: 8517.62.00.20
シリアルポート	<ul style="list-style-type: none"> DB-9 (9600/8n1、Xon/Xoff) 	サポート	<ul style="list-style-type: none"> 標準保証には、90日間のソフトウェアサポートと1年間のハードウェアサポートが含まれます。アップグレード可能
USBポート	<ul style="list-style-type: none"> USB 3.0/2.0 x1 準拠 		
液晶パネル	<ul style="list-style-type: none"> なし 		
ユニット識別	<ul style="list-style-type: none"> 前面と背面 		
AC電源	<ul style="list-style-type: none"> TE-906: AC PSU x1 TE-906-2AC: AC PSU x2 入力電圧: 100~240 VAC 切り替え可能 47~63 Hz 出力電力: 400W、TE-906-2AC: 600W 		
DC電源	<ul style="list-style-type: none"> なし 		
シャーシグラウンド	<ul style="list-style-type: none"> 付属 (アース端子) 		

⁵ 一部のモデルはSFP (Small Form-Factor Pluggable) インターフェースをサポートしておらず、一部のプラットフォームはアプライアンスのサブセットをサポートしている場合があるため、担当者またはInfobloxサポートに互換性を確認してください。

TE-1506⁶

CPU	<ul style="list-style-type: none"> Intel Xeon x1 	シャーシグラウンド	<ul style="list-style-type: none"> 付属 (アース端子)
RAIDカード	<ul style="list-style-type: none"> なし 	ディスクとファン	<ul style="list-style-type: none"> 固定ファン x6 フィールド交換可能なハードドライブ x1 フラッシュ上に保存されたシステム
ストレージ	<ul style="list-style-type: none"> 1TB SSD x1 	動作温度	<ul style="list-style-type: none"> 5°C~35°C (41°F~95°F) 相対湿度5%~95%、結露なし
Trusted Platform Module (TPM)	<ul style="list-style-type: none"> ソケットモジュール 	ストレージ温度	<ul style="list-style-type: none"> -40°C~50°C (-40°F~122°F) 相対湿度5%~95%、結露なし
BIOS	<ul style="list-style-type: none"> Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) 	寸法と重量	<ul style="list-style-type: none"> 筐体: 1U、19インチ、ラックマウント可 高さ: 44 mm (1.73インチ)、1ラックユニット 幅: 441 mm (17.36インチ) 奥行き: 547 mm (21.54インチ) 重量: 9.07 kg (約20ポンド)
ネットワークインターフェースオプション	<ul style="list-style-type: none"> 10/100/1000 Base-T イーサネット x2 (LANポート) 10/100/1000 Base-T イーサネット x1 (HAポート) 10/100/1000 Base-T イーサネット x1 (管理ポート) NICカード: カードなし、または 4ポート 10GE NIC トランシーバー: 4個の 1GE SFPまたは 1GE/10GE SFP+インターフェース* 	レールキット	<ul style="list-style-type: none"> ポスト 2本、最大600 mmのポスト 4本、または 600~900 mmのポスト 4本から選択
Lights Out Management (LOM)	<ul style="list-style-type: none"> 10/100/1000 Base-T イーサネットLOM ポート x1、IPMI 2.0準拠 IPv4に対応 	認証	<ul style="list-style-type: none"> 安全性: FCC、CE、TUV、CB、VCCI、C-Tick、KCC、CCC、NOM、BIS、EAC 環境: WEEE、RoHS
シリアルポート	<ul style="list-style-type: none"> DB-9 (9600/8n1、Xon/Xoff) 	輸出入コード	アプライアンス: <ul style="list-style-type: none"> US HTS: 8471.50.01.50 US ECCN: 5A002 US CCAT: G169866 PSU: ECCN: EAR99、HTS: 8504.40.60.18 レールキット: ECCN: EAR99、HTS: 8473.30.51.00 トランシーバー: ECCN: EAR99、HTS: 8517.62.00.20
USBポート	<ul style="list-style-type: none"> USB 3.0/2.0 x1準拠 (将来の使用のために保管) 	サポート	<ul style="list-style-type: none"> 標準保証には、90日間のソフトウェアサポートと1年間のハードウェアサポートが含まれます。アップグレード可能
液晶パネル	<ul style="list-style-type: none"> なし 		
ユニット識別	<ul style="list-style-type: none"> 前面と背面 		
AC電源 (SKUオプション)	<ul style="list-style-type: none"> ホットスワップ可能なPSU x2 入力電圧: 100~240 VAC 切り替え可能、50~60 Hz 出力電力: 600W 		
DC電源 (テレコ専用 SKUオプション)	<ul style="list-style-type: none"> ホットスワップ可能なPSU x1 ホットスワップ可能な冗長PSU x1 (オプション) 入力: -32VDC~-72VDC、600W 		

⁶一部のモデルはSFP (Small Form-Factor Pluggable) インターフェースをサポートしておらず、一部のプラットフォームはアプライアンスのサブセットをサポートしている場合があるため、担当者またはInfobloxサポートに互換性を確認してください。

TE-1606⁷

CPU	<ul style="list-style-type: none"> Intel Xeon x1 	DC電源	<ul style="list-style-type: none"> ホットスワップ可能なPSU x2 入力: -32VDC~-72VDC、600W
RAIDカード	<ul style="list-style-type: none"> One RAID card 	シャーシグラウンド	<ul style="list-style-type: none"> 付属 (アース端子)
ストレージ	<ul style="list-style-type: none"> 2TB SSD x2 	ディスクとファン	<ul style="list-style-type: none"> 固定ファン x3 固定ディスクドライブ x2 フラッシュ上に保存されたシステム
Trusted Platform Module (TPM)	<ul style="list-style-type: none"> ソケットモジュール 	動作温度	<ul style="list-style-type: none"> 5°C~35°C (41°F~95°F) 相対湿度5%~95%、結露なし
BIOS	<ul style="list-style-type: none"> Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) 	ストレージ温度	<ul style="list-style-type: none"> -40°C~50°C (-40°F~122°F) 相対湿度5%~95%、結露なし
ネットワークインターフェースオプション	<ul style="list-style-type: none"> 10/100/1000 Base-T イーサネット x2 (LANポート) 10/100/1000 Base-T イーサネット x1 (HAポート) 10/100/1000 Base-T イーサネット x1 (管理ポート) NICカード: カードなし、または 4ポート 10GE NIC トランシーバー: 4個の 1GE SFPまたは 1GE/10GE SFP+インターフェース 	寸法と重量	<ul style="list-style-type: none"> ポスト 2本、最大600 mmのポスト 4本、または 600~900 mmのポスト 4本から選択
Lights Out Management (LOM)	<ul style="list-style-type: none"> 10/100/1000 Base-T イーサネットLOM ポート x1、IPMI 2.0準拠 IPv4に対応 	レールキット	<ul style="list-style-type: none"> ポスト 2本、最大600 mmのポスト 4本、または 600~900 mmのポスト 4本から選択
シリアルポート	<ul style="list-style-type: none"> DB-9 (9600/8n1、Xon/Xoff) 	認証	<ul style="list-style-type: none"> 安全性: FCC、CE、TUV、CB、VCCI、C-Tick、KCC、CCC、NOM、BIS、GOST 環境: WEEE、RoHS
USBポート	<ul style="list-style-type: none"> USB 3.0/2.0 x1準拠 	輸出入コード	アプライアンス: <ul style="list-style-type: none"> US HTS: 8471.50.01.50 US ECCN: 5A002 US CCAT: G169866 PSU: ECCN: EAR99、HTS: 8504.40.60.18 レールキット: ECCN: EAR99、HTS: 8473.30.51.00 トランシーバー: ECCN: EAR99、HTS: 8517.62.00.20
液晶パネル	<ul style="list-style-type: none"> なし 	サポート	<ul style="list-style-type: none"> 標準保証には、90日間のソフトウェアサポートと1年間のハードウェアサポートが含まれます。アップグレード可能
ユニット識別	<ul style="list-style-type: none"> 前面と背面 		
AC電源	<ul style="list-style-type: none"> ホットスワップ可能なPSU x2 入力電圧: 100~240 VAC 切り替え可能、47~63 Hz 出力電力: 600W 		

⁷ 一部のモデルは SFP (Small Form-Factor Pluggable) インターフェースをサポートしておらず、一部のプラットフォームはアプライアンスのサブセットをサポートしている場合があるため、担当者またはInfobloxサポートに互換性について確認してください。

TE-2306⁸

CPU	<ul style="list-style-type: none"> Intel Xeon x1 	シャーシグラウンド	<ul style="list-style-type: none"> 付属 (アース端子)
RAIDカード	<ul style="list-style-type: none"> One RAID card 	ディスクとファン	<ul style="list-style-type: none"> ホットスワップ可能な冗長ファン x6 ホットスワップ冗長ディスク x4、RAID-10 フラッシュ上に保存されたシステム
ストレージ	<ul style="list-style-type: none"> 2TB SSD x4 	動作温度	<ul style="list-style-type: none"> 5°C~35°C (41°F~95°F) 相対湿度5%~95%、結露なし
Trusted Platform Module (TPM)	<ul style="list-style-type: none"> ソケットモジュール 	ストレージ温度	<ul style="list-style-type: none"> -40°C~50°C (-40°F~122°F) 相対湿度5%~95%、結露なし
BIOS	<ul style="list-style-type: none"> Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) 	寸法と重量	<ul style="list-style-type: none"> 筐体: 2U、ラックはマウント可能 高さ: 88 mm (3.46インチ)、2ラックユニット 幅: 441 mm (17.36インチ) 奥行き: 547 mm (21.54インチ) 重量: 13.15 kg (約29ポンド)
ネットワークインターフェースオプション	<ul style="list-style-type: none"> 10/100/1000 Base-T イーサネット x2 (LANポート) 10/100/1000 Base-T イーサネット x1 (HAポート) 10/100/1000 Base-T イーサネット x1 (管理ポート) NICカード: カードなし、または 4ポート 10GE NIC トランシーバー: 4個の 1GE SFPまたは 1GE/10GE SFP+インターフェース 	レールキット	<ul style="list-style-type: none"> ポスト 2本、最大600 mmのポスト 4本、または 600~900 mmのポスト 4本から選択
Lights Out Management (LOM)	<ul style="list-style-type: none"> 10/100/1000 Base-T イーサネットLOM ポート x1、IPMI 2.0準拠 IPv4に対応 	認証	<ul style="list-style-type: none"> 安全性: FCC、CE、TUV、CB、VCCI、C-Tick、KCC、CCC、NOM、BIS、EAC 環境: WEEE、RoHS
シリアルポート	<ul style="list-style-type: none"> DB-9 (9600/8n1、Xon/Xoff) 	輸出入コード	アプライアンス: <ul style="list-style-type: none"> US HTS: 8471.50.01.50 US ECCN: 5A002 US CCAT: G169866 PSU: ECCN: EAR99、HTS: 8504.40.60.18 レールキット: ECCN: EAR99、HTS: 8473.30.51.00 トランシーバー: ECCN: EAR99、HTS: 8517.62.00.20
USBポート	<ul style="list-style-type: none"> USB 3.0/2.0 x1準拠 (将来の使用のために保管) 	サポート	<ul style="list-style-type: none"> 標準保証には、90日間のソフトウェアサポートと1年間のハードウェアサポートが含まれます。アップグレード可能
液晶パネル	<ul style="list-style-type: none"> なし 		
ユニット識別	<ul style="list-style-type: none"> 前面と背面 		
AC電源 (SKUオプション)	<ul style="list-style-type: none"> ホットスワップ可能なPSU x2 入力電圧: 100~240 VAC 切り替え可能、50~60 Hz 出力電力: 600W 		
DC電源 (テレコ専用 SKUオプション)	<ul style="list-style-type: none"> ホットスワップ可能なPSU x2 入力: -32VDC~-72VDC、600W 		

⁸一部のモデルはSFP (Small Form-Factor Pluggable) インターフェースをサポートしておらず、一部のプラットフォームはアプライアンスのサブセットをサポートしている場合があるため、担当者またはInfobloxサポートに互換性を確認してください。

TE-4106⁹

CPU	<ul style="list-style-type: none"> Intel Xeon x1 	シャーシグラウンド	<ul style="list-style-type: none"> 付属 (アース端子)
RAIDカード	<ul style="list-style-type: none"> One RAID card 	ディスクとファン	<ul style="list-style-type: none"> ホットスワップ冗長ファン (ACモデルの場合は4個、DC/NEBSモデルの場合は6個) ホットスワップ可能な冗長ディスク x4、RAID-10
ストレージ	<ul style="list-style-type: none"> 4TB SSD x4 	動作温度	<ul style="list-style-type: none"> 10°C~35°C (50°F~95°F) 相対湿度10%~90%、結露なし
Trusted Platform Module (TPM)	<ul style="list-style-type: none"> ソケットモジュール 	ストレージ温度	<ul style="list-style-type: none"> -30°C~60°C (22°F~140°F) 相対湿度10%~90%、結露なし
BIOS	<ul style="list-style-type: none"> Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) 	寸法と重量	<ul style="list-style-type: none"> 筐体: 2U、ラックはマウント可能 高さ: 88 mm (3.46インチ)、2ラックユニット 幅: 441 mm (17.36インチ) 奥行き: 547 mm (21.54インチ) 重量: 13.15 kg (約29ポンド)
ネットワークインターフェースオプション	<ul style="list-style-type: none"> 10/100/1000 Base-T イーサネット x2 (LANポート) 10/100/1000 Base-T イーサネット x1 (HAポート) 10/100/1000 Base-T イーサネット x1 (管理ポート) NICカード: カードなし、または 4ポート 10GE NIC トランシーバー: 4個の 1GE SFPまたは 1GE/10GE SFP+インターフェース 	レールキット	<ul style="list-style-type: none"> ポスト 2本、最大600 mmのポスト 4本、または 600~900 mmのポスト 4本から選択
Lights Out Management (LOM)	<ul style="list-style-type: none"> 10/100/1000 Base-T イーサネットLOM ポート x1、IPMI 2.0準拠 	認証	<ul style="list-style-type: none"> 安全性: FCC、CE、TUV、CB、VCCI、C-Tick、KCC、CCC、NOM、BIS、EAC 環境: WEEE、RoHS
シリアルポート	<ul style="list-style-type: none"> DB-9 (9600/8n1、Xon/Xoff) 	輸出入コード	アプライアンス: <ul style="list-style-type: none"> US HTS: 8471.50.01.50 US ECCN: 5A002 US CCAT: G169866 PSU: ECCN: EAR99、HTS: 8504.40.60.18 レールキット: ECCN: EAR99、HTS: 8473:30.51.00 トランシーバー: ECCN: EAR99、HTS: 8517:62.00.20
USBポート	<ul style="list-style-type: none"> USB 2.0/1.1 準拠 x6 (将来の使用のために保管) 	サポート	<ul style="list-style-type: none"> 標準保証には、90日間のソフトウェアサポートと1年間のハードウェアサポートが含まれます。アップグレード可能
液晶パネル	<ul style="list-style-type: none"> なし 		
ユニット識別	<ul style="list-style-type: none"> 前面と背面 		
AC電源 (SKUオプション)	<ul style="list-style-type: none"> ホットスワップ可能なPSU x2 入力電圧: 100~240 VAC 切り替え可能、50~60 Hz 出力電力: 600W 		
DC電源 (テレコ専用 SKUオプション)	<ul style="list-style-type: none"> ホットスワップ可能なPSU x2 入力: -32VDC~-72VDC、600W 		

⁹一部のモデルはSFP (Small Form-Factor Pluggable) インターフェースをサポートしておらず、一部のプラットフォームはアプライアンスのサブセットをサポートしている場合があるため、担当者またはInfobloxサポートに互換性を確認してください。



Infobloxはネットワークとセキュリティを統合して、比類のないパフォーマンスと保護を提供します。Fortune 100企業や新興企業から高く信頼され、ネットワークが誰に、そして何に接続されているのかをリアルタイムで可視化し制御することで、組織は迅速に稼働でき、脅威を早期に検知・対処できます。

本社
2390 Mission College Blvd, Ste. 501
Santa Clara, CA 95054

+1.408.986.4000
www.infoblox.com